



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年12月26日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社  
 コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 久田宗弘  
 (氏名) 鎌田清孝

TEL 03-5764-5214

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	331,081	0.1	14,908	4.3	14,633	2.9	8,579	2.9
26年2月期第3四半期	330,901	0.6	14,289	11.9	14,223	12.0	8,340	8.5

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 8,891百万円 (4.4%) 26年2月期第3四半期 9,296百万円 (7.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年2月期第3四半期	62.27	
26年2月期第3四半期	59.51	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
27年2月期第3四半期	354,668		156,107		44.0
26年2月期	333,937		151,743		45.4

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 156,107百万円 26年2月期 151,743百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年2月期		10.00		10.00	20.00
27年2月期		10.00			
27年2月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	444,100	2.3	17,500	4.9	17,300	4.7	10,300	0.8	74.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	139,808,949 株	26年2月期	139,808,949 株
期末自己株式数	27年2月期3Q	3,839,571 株	26年2月期	1,585,409 株
期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	137,776,672 株	26年2月期3Q	140,171,469 株

(注)自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	9
商品別売上情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策、金融政策を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、新興国の成長鈍化、欧州情勢による景気下振れリスクなど、先行きについては不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、消費税増税や円安による物価上昇などにより個人消費は低迷しており、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については19店舗、退店については4店舗を実施いたしました。また、㈱ホームエクスポ子会社化により6店舗、フジタ産業㈱からの店舗譲受けにより3店舗増加したことにより、当連結会計期間末日現在の店舗数は556店舗（カーマ146店舗、ダイキ161店舗、ホームマック249店舗）となりました。

販売面においては、3月は駆け込み需要による影響で日用消耗品を中心に好調に推移しましたが、増税後は反動により売上は伸び悩み、また天候不順による影響などから、季節商品の販売が低迷しました。このようななか、工具、資材については、販売強化に取り組んだこともあり売上は堅調に推移しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は3,310億8千1百万円（前年同期比100.1%）、営業利益は149億8百万円（前年同期比104.3%）、経常利益は146億3千3百万円（前年同期比102.9%）、四半期純利益は85億7千9百万円（前年同期比102.9%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

### (主要商品部門別の状況)

#### 園芸・エクステリア部門

夏は天候不順により、よしずや散水用品などの季節商品の販売が伸び悩みましたが、春、秋については天候・気温に恵まれたこともあり、除草剤や肥料、用土等の園芸用品の販売が好調でした。その結果、売上高は561億2千5百万円となりました。

#### ホームインブルーメント部門

工具、資材については、消費税増税前の駆け込み需要の反動は小さく、専門店や大型店を中心に売上は堅調に推移しました。その結果、売上高は593億6千7百万円となりました。

#### ホームレジャー・ペット部門

消費税増税後は自転車の販売が伸び悩みましたが、健康志向の高まりにより、健康器具の販売は好調に推移しました。その結果、売上高は502億4千9百万円となりました。

#### ハウスキーピング部門

消費税増税前の駆け込み需要により、紙製品や洗剤など日用消耗品を中心に非常に好調でしたが、増税後はその反動により売上は伸び悩みました。その結果、売上高は890億5千1百万円となりました。

#### ホームファニシング部門

消費税増税前の駆け込み需要と新生活需要が重なり、カーテンやラグなどの販売が好調でしたが、夏の天候不順により、すだれなどの季節商品の販売が伸び悩みました。その結果、売上高は248億1千7百万円となりました。

#### ホームエレクトロニクス部門

消費税増税前の駆け込み需要がありましたが、増税後はその反動により、調理家電や住宅設備などの販売が伸び悩みました。また、季節商品の扇風機や石油ストーブの販売も低調に推移しました。その結果、売上高は320億5千4百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は、季節的要因により商品在庫および売掛金が増加したことや新規出店と店舗譲受けなどにより有形固定資産が増加したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して207億3千1百万円増加し、3,546億6千8百万円となりました。

負債残高は、金融機関休業日の影響により買掛金が増加したことなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して163億6千7百万円増加し、1,985億6千万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いや四半期純利益の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して43億6千3百万円増加し、1,561億7百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月9日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	12,049	17,617
受取手形及び売掛金	4,098	6,721
リース投資資産	2,417	2,380
商品	81,980	85,058
繰延税金資産	1,296	1,797
その他	6,343	6,334
貸倒引当金	0	27
流動資産合計	108,184	119,881
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	163,550	173,352
減価償却累計額	92,279	95,222
建物及び構築物(純額)	71,270	78,129
土地	73,711	75,510
リース資産	8,844	9,759
減価償却累計額	982	1,336
リース資産(純額)	7,862	8,423
建設仮勘定	1,897	1,555
その他	25,839	28,021
減価償却累計額	19,447	21,366
その他(純額)	6,392	6,655
有形固定資産合計	161,135	170,273
<b>無形固定資産</b>		
のれん	-	17
借地権	5,918	6,160
ソフトウェア	3,397	3,214
その他	201	204
無形固定資産合計	9,517	9,598
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	8,605	9,123
敷金及び保証金	41,061	40,707
繰延税金資産	1,371	1,102
長期前払費用	2,942	2,939
その他	1,178	1,102
貸倒引当金	59	61
投資その他の資産合計	55,099	54,913
固定資産合計	225,752	234,786
資産合計	333,937	354,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,613	66,345
短期借入金	50,300	22,000
1年内返済予定の長期借入金	17,359	21,109
リース債務	208	242
未払法人税等	3,055	3,613
繰延税金負債	-	9
賞与引当金	1,522	2,746
ポイント引当金	365	444
その他	10,601	17,152
流動負債合計	128,026	133,665
固定負債		
長期借入金	34,934	45,125
リース債務	8,470	9,207
繰延税金負債	796	770
再評価に係る繰延税金負債	209	207
退職給付引当金	52	58
資産除去債務	1,337	1,416
長期預り金	5,362	5,279
負ののれん	65	-
その他	2,940	2,829
固定負債合計	54,166	64,895
負債合計	182,193	198,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	41,603	41,603
利益剰余金	101,265	107,081
自己株式	646	2,412
株主資本合計	152,221	156,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,455	1,746
繰延ヘッジ損益	8	15
土地再評価差額金	1,925	1,928
その他の包括利益累計額合計	478	165
純資産合計	151,743	156,107
負債純資産合計	333,937	354,668

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	326,523	326,579
売上原価	229,445	226,619
売上総利益	97,077	99,960
営業収入		
不動産賃貸収入	4,378	4,501
営業総利益	101,455	104,461
販売費及び一般管理費	87,166	89,553
営業利益	14,289	14,908
営業外収益		
受取利息	193	179
受取配当金	181	139
為替差益	277	187
その他	371	381
営業外収益合計	1,024	887
営業外費用		
支払利息	982	1,025
支払手数料	102	114
その他	5	22
営業外費用合計	1,090	1,162
経常利益	14,223	14,633
特別利益		
固定資産売却益	1	0
受取補償金	-	17
退職給付制度終了益	103	-
国庫補助金	36	-
特別利益合計	141	17
特別損失		
固定資産除売却損	335	298
減損損失	99	48
その他	67	42
特別損失合計	501	388
税金等調整前四半期純利益	13,862	14,262
法人税、住民税及び事業税	5,118	6,087
法人税等調整額	403	404
法人税等合計	5,521	5,682
少数株主損益調整前四半期純利益	8,340	8,579
四半期純利益	8,340	8,579



( 四半期連結包括利益計算書 )

( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年11月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,340	8,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	957	291
繰延ヘッジ損益	1	23
土地再評価差額金	-	2
その他の包括利益合計	955	312
四半期包括利益	9,296	8,891
( 内訳 )		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,296	8,891
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、平成26年9月26日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式取得を行いました。これにより、自己株式が1,865百万円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームック				
営業収益							
外部顧客への売上高	98,447	83,158	149,150	144	330,901	-	330,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	3	3	35,331	35,337	35,337	-
計	98,447	83,161	149,153	35,476	366,238	35,337	330,901
セグメント利益	4,090	1,839	7,797	6,098	19,825	5,535	14,289

(注) 1. その他は、DCMホールディングス㈱における取引等です。

2. セグメント利益の調整額 5,535百万円には、セグメント間取引消去 5,545百万円、その他10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームック				
営業収益							
外部顧客への売上高	100,083	81,289	149,379	328	331,081	-	331,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	3	2	35,867	35,874	35,874	-
計	100,083	81,293	149,382	36,196	366,955	35,874	331,081
セグメント利益	4,507	2,318	8,069	6,081	20,976	6,068	14,908

(注) 1. その他は、DCMホールディングス㈱における取引等です。

2. セグメント利益の調整額 6,068百万円には、セグメント間の取引消去 6,069百万円、その他0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

4. 補足情報  
商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第3四半期 連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自平成25年3月1日 至平成26年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	55,882	17.0	56,125	17.2	66,410	15.5
ホームインブルーメント	57,513	17.6	59,367	18.2	75,686	17.7
ホームレジャー・ペット	49,799	15.3	50,249	15.4	63,862	14.9
ハウスキーピング	89,957	27.6	89,051	27.2	118,864	27.7
ホームファニシング	24,850	7.6	24,817	7.6	32,778	7.7
ホームエレクトロニクス	33,245	10.2	32,054	9.8	47,628	11.1
その他	15,274	4.7	14,913	4.6	23,092	5.4
合計	326,523	100.0	326,579	100.0	428,324	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材他
ホームインブルーメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、住宅設備、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他